

# 天明校区新校準備会だより

天明校区自治協議会、天明校区小中学校 PTA 等で組織する「新校準備会」が発行しています。



## 第1回「新校準備会」(ワークショップ)を開催

### 第1回新校準備会の概要

本市初の施設一体型義務教育学校の設立に向け、円滑な諸準備を行うため必要な事項について意見交換する場として「天明校区施設一体型義務教育学校新校準備会」(新校準備会)を開催しました。第1回新校準備会は、1月18日(火)に開催し、各校の校長及びPTA会長、各校区自治協議会会長、周辺保育園の保護者代表の19人でワークショップを行いました。新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、オンラインでの実施となりましたが、デジタルツールを使用し活発な意見交換を実施しました。

はじめに、令和3年度に策定した基本構想や天明地区における魅力ある学校の開校までに必要な検討事項の説明がありました。

先行事例の紹介では、児童の多様な学習に対応したオープンスペースや地域住民との交流の場、地域の歴史・文化に関する展示スペース、避難所機能を有した施設整備、閉校後の活用事例などの説明がありました。その後、地域や学校の枠を超えた4つのグループにわかれ、基本構想で示されている施設整備方針を基に、4つの協議の柱を設定し議論を行いました。

### ワークショップの様子



各参加者はそれぞれのPC等からオンラインで参加し、WEB会議ツールを活用して、参加者同士の表情が見える中でワークショップを行いました。全員が参加する場面では、基本構想や事例紹介、ワークショップの説明がありました。



ワークショップでは、19人の参加者が4グループにわかれて、4つの協議の柱ごとに自由に意見を出し合いました。出された意見はオンライン上のボードに貼り付けて意見をまとめていきました。最後は、全員が再度集まり、各グループで出された意見の発表を行いました。

### ワークショップの主な意見

以下に、4つの協議の柱と主な意見を示します。

#### 児童生徒が主体的に活動できる教育環境

- ・多目的に使用できるスペースがほしい
- ・共用部における交流スペースがあるとよい
- ・交流しやすい環境づくりをしてほしい
- ・異なる学年が交流できる訪れやすい環境がほしい

#### 地域の文化を受け継いだ特色ある教育

- ・天明地区の歴史・伝統に触れられる環境があるとよい
- ・地域住民の方が訪れやすい校舎にしてほしい
- ・地域の方が活動・交流できる場を整備してほしい
- ・自然環境を生かした教育に取り組んでほしい
- ・米作りや潮干狩り等の体験活動を行ってほしい

#### 避難所機能を有した施設整備

- ・高齢者等の避難に配慮した計画が必要である
- ・エレベーターや空調などの設備を充実してほしい
- ・浸水を想定した避難所の確保が必要だ
- ・災害時のトイレを必要数確保してほしい
- ・防災備蓄倉庫の整備をしてほしい
- ・弱い地盤を考慮した建物でなければならない

#### 閉校後の校舎の利活用とまちづくり

- ・小さい子どもが遊べる施設、人工芝グラウンドがほしい
- ・公民館のような習い事ができる教室等があるとよい
- ・お年寄りから子どもまで集まれる場がほしい
- ・福祉施設、地域の歴史がわかる場があるとよい

ご意見やご質問などがありましたら、熊本市教育委員会事務局の指導課もしくは学校改革推進課までお寄せください。 【指導課】 (096)328-2721 【学校改革推進課】 (096)328-2708